

第2章 都市構造上の課題

課題① 持続可能な都市構造への転換

本市の中心市街地はコンパクトにまとまっているものの、人口は減少し続けており、今後もさらなる人口減少の進展が予測されます。

人口の減少は、スーパーや病院、公共交通機関など、多くの人々が利用することで経営が成り立っている施設の撤退やサービスの低下につながるため、生活に必要な都市機能や公共交通を持続的に確保するためにも、公共交通へのアクセスが良好な地域等への居住誘導を図ることで一定の人口密度を確保し、将来にわたって持続可能な都市構造への転換が必要です。

課題② 近鉄御所駅、JR 御所駅周辺の機能強化とにぎわいの創出

近鉄御所駅、JR 御所駅周辺は、本市の中心であり商業地が形成されている他、歴史的街並みがありますが、人口の減少や空き家が目立ち、にぎわいが低下しています。

また、本市では、10代後半から20代前半の転出超過が目立っている他、40代以下の定住意向が低い傾向にあることから、市の中心である近鉄御所駅、JR 御所駅周辺における都市機能を充実させるとともに、歴史的町並みを保全・活用したまちづくりに取り組むことで、利便性の高いにぎわいのある拠点を形成することが必要です。

課題③ 災害リスクの高い地域の安全確保

地球温暖化に伴い、自然災害は頻発・激甚化しています。御所市では市民が居住する区域の中にも、浸水もしくは土砂災害リスクの高い区域が含まれていることから、ハード・ソフト両面での防災対策を図るとともに、被害の少ない区域への居住の誘導を図るなど、災害のリスクを低減させることが必要です。

課題④ 公共交通サービスの維持・向上

高齢化等の進行に対応し、歩行空間のバリアフリー化などにより歩行者を優先した歩きたくなるまちづくりを進めるとともに、本市の特性に応じた新しい交通サービスの導入を含めた公共交通の充実を図ることが必要です。

課題⑤ 都市基盤の維持管理費の抑制

近年、市財政は早期健全化基準をクリアし財政は健全化されつつあるものの、今後、さらなる高齢化による社会福祉費用の増大や、人口減少による税収減少等が想定され、引き続き財政状況は明るいとはいえません。

将来にわたり持続可能な行政サービスを提供するためには、人口減少に歯止めをかける施策を図りながら、公共施設の維持管理費の削減など、財政の効率化を図る取組が必要です。